



# 目次

1.	はじめに	p.2
2.	「身近な水環境の全国一斉調査」の目的と意義	p.3
3.	調査地点と調査場所	p.5
4.	水温	p.7
5.	COD	p.9
6.	調査結果の記入と返送	p.20
7.	安全管理	p.22
8.	パケットテストCOD(D)使用上の注意	p.22
9.	参考資料	p.25
10.	全国水環境マップ実行委員会名簿	p.26

## コラム

①	身近な水環境を理解するために — さまざまな要素を用い総合的に考える —	p.13
②	身近な水環境を調べる意義 — 流域、全国さらに世界へ広がるネットワーク —	p.14
③	気をつけたいこと	p.15
④	採水の時間帯について — 代表値を得る難しさ —	p.16
⑤	操作方法のセルフチェック	p.17
⑥	COD(D)値が8 mgO/L以上になった場合のCOD値の求め方	p.17
⑦	写真で見るパケットテストCOD(D)の色変化	p.17
⑧	COD以外の汚れの水質指標	p.19
⑨	関連情報	p.19

- ◆ パケットテストは株式会社共立理化学研究所の登録商標です。
- ◆ この詳細マニュアルでは、共立パケットテストの化学的酸素消費量(低濃度)をCOD(D)と表現することにします。
- ◆ Microsoft, Windows, Excel は、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
- ◆ その他、本書に記載されている会社名、製品名などは一般に各社の商標または登録商標です。
- ◆ 本書で紹介されているホームページは、2007年3月現在のものです。その後、名称やURLなど変更されている可能性があります。
- ◆ 「身近な水環境の全国一斉調査」では全国水環境マップ実行委員会から配布したパケットテストCOD(D)を全国統一データとして扱っています。COD(D)の測定範囲を超える値(8mgO/L以上)を測定する場合は希釈法・COD(0~100)として紹介しています。詳しくは「身近な水環境の全国一斉調査のホームページ」に記載しています。